

## ビッグレスキューかながわ（平成24年度神奈川県・横須賀市合同総合防災訓練） について

### 1 訓練の目的

大規模災害発生時の初動対応における救急医療等を主体とした実践的訓練を通じ、自衛隊医療関係部隊と県医療関係組織等との連携の強化を図るとともに、自主防災組織を中心とした地域防災力の強化と防災意識の高揚を図る。

### 2 重点事項

- (1) 自衛隊医療部隊と医療関係機関、関係各機関の相互連携体制の強化
- (2) 自主防災組織を中心とした地域防災力の強化
- (3) 住民等の防災意識の高揚
- (4) 各種対策及びマニュアル・協定等の検証

### 3 実施日時・場所

- (1) 中央会場

日時：平成24年9月16日（日）10：00～12：00

展示・体験コーナーは9：00～13：00

場所：陸上自衛隊武山駐屯地（横須賀市御幸浜1-1）

- (2) 地域会場

日時：平成24年8月27日（月）、9月5日（水）、9月16日（日）

場所：横須賀市立市民病院、海上自衛隊艦艇、城ヶ島、葉山港、斉田浜、横須賀市総合福祉会館、横須賀工業高等学校（8月27日）、鎌倉三浦地域児童相談所（9月5日）

### 4 主催

神奈川県、横須賀市

### 5 参加・協力機関等

県内市町村、消防本部、県警察本部、警察署、自衛隊、日本赤十字社、DMA T指定病院、医療関係機関、指定地方行政機関、指定公共機関、ライフライン機関、自主防災組織、民間事業所、ボランティア団体、在日米軍ほか

### 6 訓練想定

- (1) 地震名称：三浦半島断層群地震
- (2) 地震規模：マグニチュード7.2
- (3) 最大震度：6強

### 7 訓練項目（今回の主な訓練内容は別紙のとおり）

- (1) 情報収集伝達活動訓練
- (2) 自主防災組織対応訓練
- (3) 交通規制、道路啓開訓練
- (4) 救出救助部隊搬送訓練
- (5) 救出救助訓練
- (6) 医療救護活動訓練
- (7) 孤立地域対策訓練
- (8) 在日米軍医療支援訓練
- (9) 被災地生活支援訓練
- (10) 緊急輸送物資の広域搬送
- (11) 災害時ボランティアセンター設置運営訓練
- (12) 広域防災活動拠点等運営訓練

## 今回の主な訓練内容

内 容	会 場	参加機関
<p>① 災害医療拠点病院とDMA T（災害派遣医療チーム）との連携活動訓練</p> <p>県医療救護本部の要請により、県内・県外の応援DMA T（災害派遣医療チーム）は被災地の災害医療拠点病院に出動し、DMA T現地指揮所を設置した後、病院と連携した医療救護活動を行う。</p>	横須賀市立市民病院	神奈川県 横須賀市立市民病院 横須賀共済病院 利根中央病院 松戸市立病院 聖隷三方原病院
<p>② 自衛隊医療関係部隊と他の医療関係機関が連携する医療救護活動</p> <p>県の要請により、自衛隊医療関係部隊、神奈川DMAT、他県DMAT、日本赤十字社、在日米陸軍、在日米海軍等が被災地に出動し、陸上自衛隊の野外手術システムや各機関の救護用装備を被災現場から離れた場所「医療救護エリア」で展開して、各機関が互いに連携した医療救護活動を行う。</p>	陸上自衛隊武山駐屯地（医療救護エリア）	神奈川県 陸上自衛隊第1後方支援連隊 陸上自衛隊東部方面衛生隊 南関東防衛局 聖マリアンナ医科大学病院 平塚市民病院 東海大学医学部付属病院 秦野赤十字病院 横浜南共済病院 伊勢崎市民病院 日本赤十字社神奈川県支部 在日米陸軍 在日米海軍
<p>③ 在日米軍医療チームの輸送及び医療救護活動訓練</p> <p>県の要請により、在日米陸軍、在日米海軍は医療チームをヘリコプターや車両で被災地内に派遣し、DMAT等の医療関係部隊と連携した負傷者の救護活動を実施する。</p> <p>ヘリポートから医療救護エリアへの医療チームの搬送を陸上自衛隊が行う。</p>	陸上自衛隊武山駐屯地（医療救護エリア）	神奈川県 在日米陸軍 在日米海軍 陸上自衛隊
<p>④ 海上自衛隊艦艇で行う医療救護活動</p> <p>県の要請により、海上自衛隊の艦艇が付近海域から被災地沖合に向かい、停泊して負傷者を收容し、域外へ搬送する。負傷者多数のため、DMATが出動、自衛隊医官等と連携して医療救護活動を行う。</p>	海上自衛隊艦艇	海上自衛隊 自衛隊横須賀病院 北里大学病院 川崎市川崎病院 前橋赤十字病院 千葉大学医学部附属病院

<p>⑤ 広域応援部隊等による救出救助、災害救助犬を活用した救出救助</p> <p>自衛隊、警察の偵察・パトロールにより大規模災害現場の情報あり。県災害対策本部から消防、警察、自衛隊の現地派遣を要請。建物倒壊現場（中高層建物（5階建て）、2階建て、1階建て）に、消防・警察・自衛隊の部隊が到着、現場指揮本部を設置した上で、救助方針を決定、消防、警察、自衛隊がそれぞれ別々の現場を担当することとする。消防から県医療救護本部へDMAT派遣を要請。各部隊がそれぞれの現場に順次到着。警察、自衛隊は災害救助犬の部隊とともに負傷者を捜索。倒壊した建物の瓦礫を協定業者の協力により撤去。各現場において、消防、警察、自衛隊が救出救助活動を行う。救出した負傷者を自衛隊・消防・警察が協力して傷病者集積場所へ順次搬送後、DMATがトリアージ、応急救護、搬送の優先順位を決定し、各部隊の協力により搬送を行う。</p>	<p>陸上自衛隊武山駐屯地（本部席前A、B、D、Eエリア）</p>	<p>横須賀市消防局      県警察第1機動隊      陸上自衛隊第31普通科連隊      陸上自衛隊第1高射特科大隊      陸上自衛隊第4施設群      陸上自衛隊通信学校      航空自衛隊第1高射群第2高射隊      南関東防衛局      (社)神奈川県建物解体業協会      (社)ジャパンケネルクラブ      (特非)救助犬訓練士協会      (特非)日本救助犬協会      (特非)神奈川救助犬ネットワーク      横浜市立大学附属市民総合医療センター      横浜労災病院      済生会横浜市東部病院      千葉県救急医療センター</p>
<p>⑥ 陸上自衛隊救出救助部隊の海上輸送</p> <p>海上自衛隊LCAC（ホバークラフト）が陸上自衛隊救出救助部隊を海上輸送、海岸より上陸して被災現場へ向かい、他の部隊と連携して救出救助活動を行う。</p>	<p>斉田浜～陸上自衛隊武山駐屯地</p>	<p>陸上自衛隊      海上自衛隊</p>